

研究基盤政策の今後の推進方策について（案）

科学技術イノベーションのための研究基盤施策に関する俯瞰的ロードマップ

目標

研究基盤の充実強化による科学技術イノベーション力の向上

先端研究施設 設備の効果を利用を可能とするシステムの構築
先端研究施設 設備の最適かつ効率的な整備

世界的に卓越した
計測・解析基盤の実現

研究開発を加速する
最適な研究基盤構成

革新的技術・機器
の持続的創出



研究基盤の
戦略的整備、
共用

最先端の研究開発

基盤強化が重要となる政策分野において、プラットフォームを構築

高度化に繋がる新たな技術等を創出

共通基盤
技術の開発

2011 2012 2013 2014 2015 2016以降

大学、独法への運営費交付金、施設整備費補助金等が上記施策を下支え

【本日の論点】

研究基盤政策を戦略的、効果的に推進するためのシステムを構築すべきではないか

【現状】

体系的なものは無い

【取組内容】

- ・政策ニーズ (諸外国の動向、社会的要請等を含む)、各施設・設備の実態等を的確に把握

本機能を中核的に担う機関が必要

A 調査・分析機能

B 戦略立案機能

研究基盤政策のPDCAサイクルの確立

C 実施機能

【現状】

科学技術の各分野毎に戦略を立案

【取組内容】

- ・政策分野別の戦略を踏まえた上で、調査・分析機能が提示するエビデンスに基づき、全体を俯瞰した研究基盤戦略を立案

- ・分野を超えた連携、情報発信の取組
- ・共通の運用指針 (好事例の水平展開)
- ・整備すべき研究基盤の明確化
- ・人材確保に必要な取組 等

本機能は国が担うことが適当

【現状】 基本的には政策分野毎の施策が存在

【取組内容】

- ・毎年度の研究基盤戦略に基づき、研究開発プラットフォームとして必要となる取組を戦略的に実行
- ・「評価の大綱的指針」等に基づき、科学技術・学術審議会等において定期的に取組を評価

本機能は、国と各取組実施機関が、適切な役割分担の下で担うことが適当

【参考】 当面の検討スケジュール（予定）

10月14日 第3回 議題：研究基盤政策の今後の推進方策（国外事例を踏まえて）

NISTEP等と連携しつつ、施設・設備保有機関、利用者等を対象とした調査を実施予定

12月中旬 第4回 議題（案）：利用者側から見た最適な利用システムとその波及方策

（12月下旬 第3回先端研究基盤部会開催）

1月頃 第5回 議題（案）：技術支援者等の充実・確保など

2月頃 第6回 議題（案）：共用、整備を戦略的に実施するための平成25年度以降の支援方策（予算、制度改革）のあり方

3月頃 第7回 議題（案）：委員会一次報告（案）について審議

4月頃 第8回 議題（案）：委員会一次報告（案）について審議、決定

第4回以降の日程、議題については、変更の可能性あり